

試練があなたを揺さぶるべきでない理由（第一テサロニケ3章1節から5節）

<https://www.youtube.com/watch?v=r3Pfq-1Fhek>

では、神のみことばに入っていきます。1テサロニケ第3章、今日読むのは 最初の5節、1-5節です。

それでは、聖書をお開きください。 まだの方も、聖書が開けたら、できればお立ち下さい。私が読みますから、皆さんはそれに沿ってお読みください。 立てない場合は、座ったままで問題ありません。使徒パウロはテサロニケの信者たちに手紙を書いています。彼は続けて、今ここで第3章の1節でこう言います。「そこで、私たちはもはや耐えきれなくなり、...」彼は私たちが今日の学びを終える前に、これを2回言います。

1テサロニケ3

1私たちだけがアテネに残ることにして、

2私たちの兄弟であり、キリストの福音を伝える神の同労者であるテモテを遣わしたのです。

そして、理由が書かれています。 **あなたがたを信仰において強め、励まし、**

3このような苦難の中にあっても、だれも動揺することがないようにするためでした。あなたがた自身を知っているとおり、私たちはこのような苦難にあうように定められているのです。

4あなたがたのところにいたとき、私たちは前もって、苦難に遭うようになると言っておいたのですが、あなたがたが知っているとおおり、それは事実となりました。

5節で再び出て来ます。

5そういうわけで、私はもはや耐えられなくなって、あなたがたの信仰の様子を知るために、テモテを遣わしたのです。

日曜日の朝に何人来るのかを知るためではなく、建物を知るためでもなく、駐車場を知るためでもなく、いいえ、「あなたの信仰を知るために。」

それは、誘惑する者があなたがたを誘惑して、私たちの労苦が無駄にならないようにするためでした。

(1テサロニケ3:5)

一緒に祈りましょう。 主よ、ありがとうございます。

愛なる天のお父様、この時、あなたが私たちの心を落ち着かせ、私たちの心を静めて下さい。私たちの注意を引き、私たちの注意を保たせてください。主よ、私たちは何も見逃したくありません。あなたが今日、私たちが共に過ごす時間に、あなたのことばの中で用意して下さっているものを。だから主よ、あなただけができるように、聖霊の静かな声で語ってください。そして、あなたの御言葉の中で、御言葉を通して語ってくださるようにと祈ります。イエスの御名によって。アーメン。

お座りください。 ありがとうございます。今日お話ししたいのは、シンプルでありながら強力かつ重要な真理で、もし理解して、そして、より重要なことですが、適用するなら、私たちの信仰生活を変えることができるものです。これがある種の挑発的な発言であることは分かっていますが。

しかし、もし私達が本当にこれを理解するなら、これは言わば試合の流れを変えるものになりえるのです。私たちのクリスチャンとしての生き方を変えるものに。私が話したいのは、「どれほどの困難な試練も、私たちが動揺させたり、揺さぶったり、破壊させなくてよい。」ということです。私たちのキリストへの信仰に関しては、特にそうです。ここで、今日の箇所では使徒パウロは...

私はパウロのこういうところが大好きなのですが、特にテサロニケにあるこの教会に対して、彼は非常に感情的に、また情熱的に、なぜそれが可能なのか、現実にとしたら可能なのかを説明しています。

逆境が訪れる時に、いかに疑念を持たないようにするか。 逆境は訪れるのです。そうする上で、彼は、試練が決して私たちが動揺させてはならない2つの理由を私たちに提示しています。ルカが使徒の働きの中で、パウ

口の発言を書いているのを思い出します。

「私を動かすものは何もない。」 「私は動じない。動揺しない。」 「私は何によっても揺るがされない。」
彼にはそう言えるのです。そう言える人がいるとすれば、それは確かに使徒パウロです。試練が私たちの信仰を揺るがしてはならない第一の理由はこれです。それは、「試練が実際に私たちの信仰を強めるから」です。2節の最後の部分と、3節の最初の部分で、パウロが彼らに、テモテが送られた理由は、彼らを力づけ、彼らの信仰を励ますためだと、告げていることに注目してください。

さて、パウロがテサロニケに戻りたいと強く願っていたことを理解することが重要です。彼らの様子を見るために。しかし、先週の2章で学んだように、神は、パウロがそこへ戻ることができないように、サタンが彼の道を妨げることを許されました。私は本当にこう信じているのですが、神が敵にパウロが戻るのを妨げさせた結果、場合によっては 私たちに与えられていなかったかもしれない2つの書簡があります。神がサタンに許可していなかったら。良かったと思いませんか？それで、彼はもう耐えられませんでした。子どもの様子をただただ知りたい親の姿だと思えます。そして、彼らは知らせを受けたいのです。彼らは子どもたちがいる場所に行くことができません。しかし、彼らがどうしているかを知りたいのです。覚えておいてください。これは、電子メール、ソーシャルメディアなど、私たちが今日使っているテクノロジーがなかった時代の事です。なので、パウロが彼らの様子を知ることができる唯一の方法は、彼らの様子についての報告を持ち帰らせるために、テモテを送ることでした。

しかし、もう一度注目してください。彼らの信仰を力づける目的は、試練が彼らの信仰を揺るがさないようにするためでした。言い換えれば、試練は私たちに疑念を起こさせるものではありません。それは、私たちを強めるものです。それが、私たちの人生の中に試練がある理由です。仮に、こういう言い方ができるとして、サタンの唯一の目標が、私たちの信仰を破壊することだとしたら、どうでしょう？

イエスは、**「敵である盗人は、盗み、殺し、滅ぼすために来る」**と云われました。（ヨハネ10:10）

「日の下には新しいものは一つもない。」（伝道者の書1:9）

これはまさに、サタンがエデンの園でやったことです。彼はエバの心に疑いの種を植えようとしたのです。（サタン）「神がそう言ったのか？」 「うーん...」彼は神が言われたことに対する彼女の信仰を破壊しようとしていました。それで今や、疑いがあるのです。それがサタンの唯一の目標です。彼はあなたの信仰を弱めたいのです。彼はあなたの信仰を破壊したいのです。敵のあらゆる攻撃は、それが目的です。すべての試練、すべてのテスト、すべての誘惑には、アメフトにたとえさせてもらえば、その「エンド・ゾーン」に、「ゴールポスト（ゴールの支柱）」として、私たちの信仰を破壊することがあります。パウロはそれを知っていました。だから、パウロはものすごく心配していました。パウロは、自分が去った後に、彼らが信仰を失うことを恐れたのです。彼らが遭遇する試練が... 彼らは実際に試練、患難と迫害に直面していました。大変な迫害です。しかし、神は... しかし、神は、神だけができるように、私たちの信仰を弱め、破壊することを目的とするものを取り、そして、それをを用いて、私たちの信仰を励まし、力づけるのです。...私はあの節を思い浮かべます。

「まことに 人の憤りまでもがあなたをたたえ...」（詩篇76:10）

「人の憤り」 悪を目的とし、破壊を目的とするもの、サタンが悪のために意図し、人が悪のために意図するもの、神はそれを善のために意図します。私には、神がどのようにそうされるのか 分かりませんが、ただ、神がそうされる事を知っています。なぜなら、それが神のご性質だからです。さて、2番目の理由に入る前に、このことについて、非常に重要で、誤解されている真理があります。それは、私たちの信仰は、逆境の時にも繁栄の時にも 試されることができるということです。その理由は、逆境の時には、私たちは神を疑う傾向があり、そして、繁栄の時には、私たちはそれに夢中になって、神を忘れるからです。木曜日の夜、私たちは箴言を見ています。主の御心なら、今週の木曜日は16章を取り上げますが、しかし、箴言30章7節から9節には、こうあります。聞いてください。

箴言30

7二つのことをあなたにお願いします。私が死なないうちに、それをかなえてください。むなしいことと偽りのことばを、わたしから遠ざけてください。

8貧しさも富も私に与えず、ただ、私に定められた分の食物で、私を養って下さい。

これは素晴らしい祈りです。その理由は次のとおりです。聞いてください。

箴言30

9私が満腹してあなたを否み、『主とはだれだ』と言わないように。また、私が貧しくなって盗みをし、私の神の御名を汚すことのないように。

私は敢えて言いますが、場合によっては、繁栄は逆境よりも私たちの信仰のテストになることがあります。私がこう言う理由を説明します。時に、私たちが繁栄し、祝福されるとき、私たちは、主から遠く離れる傾向があります。私たちは主に目を向けません。私たちは主に信頼しません。

「やあ、何もかもものすごく(smashingly) うまくいっているよ。」ちなみに、あの「Smashing(非常に、素晴らしい)」という言葉が私は大好きです。私が本当にやりたかったのは... 以前にも言ったことは分かっていますが、これは完全に余談です。私の説教メモにはありませんが、言わせてください。

私はあの言葉を復活させる必要があると思います。「ああ、あなたはかっこよく見えるよ！」(You look smashing!) ちょっと試してみただけです。とにかく、物事が非常に素晴らしく(smashing)、物事がうまくいっている時、それは私たちの祈りの生活に現れます。と言うより、祈りの不足に現れると言うべきでしょうか? ...これは最近主が、本当に私に語って下さっていることで、「私はあなたを祝福したいのだよ。」「しかし、心配なのは、私があなたを祝福し、あなたを繁栄させたら...」「あなたが、それは自分でやったと考え始めることだ。」「それがあなたをうぬぼれさせ始める。」

何が面白いかというと、皆さんも言ったことがあるでしょうし、こう言われるのを聞いたことがあるでしょう?

「神はあなたが扱える以上のことを決して与えないでしょう。」そうですね? まあ、それは真理です。しかし、それが常に逆境の観点から言われるのも本当ではないですか? 尊い親愛なる兄弟姉妹が、本当に大変な時期を体験している時、本当に難しい試練を? あなたは彼らを励ましたいと思い、励まそうとします。あなたは彼らに言います。「神はあなたが扱える以上のことをあなたに与えないでしょう。」そして時々... 私は自分がそうだと分かっています。ごめんなさい。私はすぐ好意的になれないんです。「ああ! 君がそう言うのは簡単だ! うん。君には何もかも順調だから!」ごめんなさい。

しかし、このように考えたことはありますか? 神はあなたが対処できる以上の逆境をあなたに与えないのですが、同じように、神はあなたが扱える以上の繁栄をあなたに与えません。私たちがそう言う時に、私たちは実際、1コリント10章13節を異なる言葉で表現し、それを引用しさえしているのです。

使徒パウロの言うことを聞いてください。補足ですが、元の言語を理解することは、重要です。翻訳の中にはそれを「誘惑」と訳しているものもあるでしょう。これは、言語のギリシャ語では、「試練」と訳されるのと同じ語です。したがって、「誘惑」とあるとき、それは「試練」と翻訳されるのと同じ言葉です。考えてみれば、すべての試練は誘惑であり、すべての誘惑は試練です。そうですね?

そこでパウロはこう言っています。

1コリント10

13あなたがたが経験した誘惑/試練はみな、人の知らないものではありません。

ここで、この私の大好きな2語が出て来ます。「しかし、神は...」ここで全てが変わるのです。

これら二つの言葉。

(しかし、) 神は真実な方です。あなたがたを耐えられない試練にあわせることはなさいません。

(1コリント10:13)

ここで、この最後の部分を聞くことが 本当に重要です。なぜなら、私たちは時々これを 読み飛ばすことがあると思うからです。ポール・ハーヴェイ（有名なラジオ・アナウンサー）がかつて「後は知ってのとおり」と言っていたように。 いいですか？ですから、あなたが耐えることができる以上に試されることはありません。「なぜ」、「いかにしてか」は、次のとおりです。 これは私たちの理解に密接に関係することです。誘惑とともに、試練とともに、試練を通して、試練のために、

むしろ、耐えられるように、（神は）試練とともに脱出の道も備えていて下さいます。」（1コリント10:13）

皆さん分かりましたか？私が皆さんに正直に言えるなら、「そうでなければよいのに、」と思います。

私は、試練の中で強められる唯一の方法が、試練を通ることではなければよいのに、 と思います。私は神に、そこから私を取り出してほしいのです。神は、「わたしはあなたをそこから取り出しはしない。あなたがそこを通り抜けられるようにする。」「でも、あなたをそこから 取り出すつもりはない。」「なぜなら、もしわたしがあなたをそこから取り出したら、」「あなたはもう一度テストを受け直さなければならなくなる。」ああ、私は学生のころ、それが大嫌いでしたよ... そうですね？テストに合格しなかった場合は、テストを再受験する必要があります。ああ、私は何度も追試を受けたことがあります。

このことは、言ってみれば、主が私たちがテストに合格することを望んでいるという意味で ここにも当てはめられることです。そこで、テストが来ます。 試練が起こり、逆境が訪れます。神は私に何かを学んで欲しいと願っているのです。神は、今まで私が持っていなかったものを持ってほしいと願っています。すなわち、「強さ」それは、神がこう言っているようです。「あなたは祈って、わたしに強さを求めている。」—「主よ、あなたの力が必要です」と。「おお...」「あなたは、何を求めているのか分かっていない。」私のことを任されている御使いたちが こんな風に言うのが聞こえるようです。「彼はあれを祈っちゃったの？」—「ああ、祈ったね。」「今、彼は神に力を与えてくださるよう祈り求めたかい？」—「ああ。」「あら大変！」だって、どうなるかと言うと...神が力を与える方法は、彼に試練を与えることだからです。なぜなら試練の中で、強さが生まれるからです。ああ、近道があればいいのに、 と思います。でも、私が本当に望むのは、これです。私がある時テレビを見ていると、この新しい薬のためのコマーシャルがありました。ああ、...そうですね？ ああ、あなたもですか？ ところで、副作用はありませんよ。あのソフトでリラックスした心を落ち着かせるBGMが流れていて、そして、この非常に穏やかな優しい声が言います。「内出血と死に至る可能性があります。」あなたはなんてこったと思うでしょう。これらの副作用は私がこの薬を摂ってる原因よりも悪いじゃないか！

私が彼らに考え付いてほしいのは...お分かりでしょう？ 私の言いたいことは分かってもらえたと思います。2番目の理由は次のとおりです。そして、これは大きな理由です。試練が決して信仰を揺るがすべきではない理由、それは、私たちは試練を予期すべきだからです。これについて、よく聞いてください。

試練を予期していなかったら、私は試練によって不意打ちを食らいます。それを予期しているときは、あなたは安定していて、それに対する 準備ができています。しかし、あなたがそれを予期していないときは？あら！あなたはそれによって完全に狂ってしまいます。この点では、これは全くその通りなんです。それよりもさらに悪いんです。こんな風に言って申し訳ないんですが、本当はそれよりも悪いんです。私たちの人生において、試練は予期されるべきであるのみならず、試練は私たちの人生の定めなのです。それがパウロの言ったことです。彼はこう言っています。「私たちはこのような苦難にあうように定められていると知っている」皆さんは許して下さると思いますが、私には苦闘することがあって... 私は過度に批判的なのもかもしれません... しかし、私は良い説教が大好きです。私のお気に入りの聖書教師がいて、 毎日のように聞いています。時には一日中ずっと。私は彼らの教えと説教のスタイルが大好きです。はばかりながら、その反対側にいる人たちについては、彼らもキリストにある兄弟たちで、私は天国で彼らに会うでしょう。ありがたいことに、私たちは天国では、誰のこともこの地上の肉にしたがって知ることはありません。主よ、ありがとうございます。「あなたのことを言ってるんじゃないですよ。」「私は私自身のことを話しているんです。」とにかく、それはまた別の機会のトピックです。しかし、その基本的な語調はこんな具合です。

「あなたには運命があります！」私に？「あなたの人生には、成し遂げられるべき目的と運命がある！」—私の人生に？「そう！」それは何ですか？「ああ、壮大で輝かしい物事！」「それはあなたの運命、運命、運命……」ここにはそんな事、書いてありません。ごめんなさい。許してくださいね。

私たちの運命が何であるか知っていますか？「試練」です。ああ、私はそれは聞きたくありません。

それが問題です。それは説教されていません。それは聞かれていません。それは非常に悲しいことです。それが、人々をこの予想外の脱線の危険に陥れるからです。「神よ、あなたは何をしていますのですか？なぜこうなっているのですか？私には運命があると思ってたのに！」あなたには運命がある。だが、それは試練のことだ。それがあなたの運命です。あなたは試練にあうと運命づけられています。悲しいことに、多くのクリスチャンには準備ができていません。彼らはそれを予期していません。それが、彼らが試練によって非常に動揺する理由です。試練が来るとき、彼らには準備ができていませんでした。

彼らはそれを予期していなかった。彼らはしっかり植えつけられておらず、堅く、しっかりと立っていませんでした。神のことばに深く、根を張っていなかったのです。またもや、私の覚書きには無い事です。私はいつも聖霊とやり取りするんです。「私は確かにこれを話すべきですか？」と聞き、もしそれが何度も思い浮かぶなら、私は聖霊に従います。なので、これはここにいる人やオンラインで見ている人のためかもしれません。私が救われた当初、私は早くから神の言葉に深く根ざしました。初めて聖書を最後まで読み、約6ヶ月かかりました。実際は、途中でやめられなかったのです。私は良いスタートを切りました。いわば、好調な滑り出しでした。私のつながった教会は、当時はカルバリーチャペルの教会で、御言葉を教えていました。そして、私はみことばに根ざし、根を張りました。なので、私は準備ができていました。私は、このバラ色の眼鏡を通してみる福音は持っていませんでした。

「さあ、イエスの元へ来て。 そうすれば、あなたの問題はすべてなくなるでしょう！ ああ、幸せな日♪」なぜなら、もし私がそれに参加を申し込んで、その後、試練が起こったなら、あなたはこうなるでしょう。「ねえ！私はこれに申し込んだんじゃない！これは何だ？そうじゃないだろう。」違います。私はそれが来ることを知っていました。そして私にはその準備ができていました。それで、「もし」ではなく、現実に試練が訪れた「時」、逆境が起こった「時」、それは木のようなものですよ？嵐が来ると、特にヤシの木がこのように曲がりますね？ちなみに、それは良い姿勢です。嵐の中で、主の前にひれ伏す。しかし、彼らは倒れません。どうしてか？なぜなら、その根が深くて強いからです。耐えることができるのです。しかし、嵐が来るときに、その倒れない木の根系がどうなっているか知っていますか？それがどうしてそのように強くなり、そのように深く根を張るのか知っていますか？嵐です！

嵐が、その木に成長する力を与えるのです。そのため、根は深く張り、しっかりと固定されるのです。

なので、その木は動かされない。そして、その木、そのクリスチャンの信仰生活は崩れ落ちません。

それはイエスが二人の建築者のたとえを教えた時に言ったことです。彼らには多くの共通点がありました。二人は同じ教会に行っていたようです。イエスは彼らが建築に着手したと言っています。そして唯一の違いは、岩の上に建てた人は、キリストの言葉を聞いて、心に留めた人でした。神の言葉に。もう一人はみことばを聞いていました。しかし、彼はみことばを実行する者ではありませんでした。それで、嵐が来たとき、彼は倒れました。昨夜のクリスマスディナーで話しましたが、昨日12月7日は、私と私の家族にとって個人的に特別な日でした。16年前の昨日、12月7日、私たちはここに引っ越してきました。私は妻と、当時5歳と3歳の2人の男の子と共に、飛行機に乗りました。スポケーン市を出て、ここに飛びました。パールハーバーの日に、飛行機でハワイに飛んできました。神はユーモアがあります。信仰によってこの働きを始めるためでした。私は昨夜お話ししたんですが... もしも、2003年12月7日に誰かが私のところに来て、私にこう言ったとします。「16年後の2019年12月7日に、」「あなたは素晴らしい教会のメンバーたちと素晴らしいクリスマスディナーを楽しんでいるでしょう。」皆さんは素晴らしく、愛の溢れた教会です。私はそれを信じなかったでしょう。ただし、皆さんはその間に多くの試練があったことを理解しなければなりません。最初の2年間は、私は自分が人生で最大

かつ最悪の決断をしたとっていました。困難と試練があり、それから娘が死に、経済的な試練があり、困難、テスト、誘惑...「神様、私には理解できません。」とありました。「ああ、いつか分かる。」—「いつ？」
「いつか分かる。少し待っていなさい。」ところで、これは詩篇27：13-14です。
「私は心を失っていただろう」とダビデは言いました。

詩篇27

13もしも 私が 生ける者の地で主のいつくしみを見ると 信じていなかったなら——

これは、天国ではなくこちら側のことです。そして彼は彼自身に語っているのです。それは独り言とは違います。自分自身に語っています。彼は自分に語ります。「心を強くせよ。待ち望め。」「主を待ち望め。そのうち分かるから。ただ待ちなさい。」そして、確かに、今は、これらの試練のすべてが、私を強めたことがわかります。神が私のために準備していたことのために。イエスがヨハネ16節33節で言ったことを聞いてください。彼はこう言っています。

ヨハネ16

33これらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたがわたしにあって平安を得るためです。

「世にあっては、苦難があります。」ああ、それが「もしかしたら、あなたが何らかの試練に出くわす可能性は十分ある」と言ってくれていたら良いのにとおもいます。いいえ。「あります」です。私はその表現が好きではありません。原語で調べてみました。原語で何と言っているか知っていますか？

「あります」です。「必ずなる」「保証する！」それを予期していなさい！「この世では困難があると予期していなさい。」「しかし、勇気を出しなさい。」どうしてか？

「私はすでに世に勝ちました。」（ヨハネ16:33）

使徒の働き14章では、パウロがルステラにいた時、石で打たれ、死んだと思われたと書かれています。（**使徒の働き14:19**）しかし、弟子たちが彼の周りに集まった後、彼は立ち上がり、すぐにルステラの町に戻ったのです。私だったら、察していたでしょう。「私はここでは歓迎されていないな。」「あなたは私を殺したがっていますね？」「またね。殺されたくないから。」スリッパから砂を掃って、先に進もう！しかし、パウロは違います！彼はすぐに戻るのです。それから、21節と22節にこうあります。

「二人（パウロとバルナバ）はこの町で福音を宣べ伝え、」

そして... ああ、彼が戻ってよかったです。

「多くの人々を弟子としてから...、」（使徒の働き14:21）

（そしてここです。）「弟子たちの心を強め、信仰にしっかりとどまるように勧めて、」
彼らがいかにして信仰に忠実であるように励まし、彼らを強めたかに耳を傾けてください。

彼らはこう言いました。「**私たちは、神の国に入るために、多くの苦しみを経なければならない。**」（使徒の働き14:22）

「何だと？」「いや、いや。私は、ある人が、私には運命があると言ったのを聞いたよ。」

「私には運命がある！」—はい。それはたくさんの困難のことです。それが運命です。そして、あなたはそれを経験しなければならない。

「それが私を強め、励ますことになっているの？」「あなたは私を怖がらせてる。あなたは私を不安にさせている。」「これが私を強め、励ますことになっているの？」—はい。「どうやって？」—なぜなら、今あなたはそれを予期できるからです。今は、もう分かっている。それで、前もって、「もしそれが起こったら」ではなく、「そうなった時に」、こうならないためです。「これは何ですか？これは何？これはどういうことですか？なぜこれが起こっているのですか？」

「私はこんなこと聞いていません。」いいえ。これが細則です。契約条件。皆さんの中には、詳細を読まないで「OK」「同意します」をクリックする人がどのくらいいますか？それらは読まないといけません。私たちクリスチャンの歩みでも、私たちは頻繁にただ「同意する」をクリックすることがあると思います。「アーメ

ン！説教してくれ、兄弟！」と。実際の契約内容を読まないで。これがその条件なのです。ちなみに、それはすべて神の条件どおりです。あなたは既に「同意する」をクリックしました。「やりましたっけ？」—はい！ここです。こちらが確認メールです。私はヤコブが大好きです。いつもヤコブが好きだったわけではありません。私はかつてこれが嫌いでした。強い言葉遣いだと分かっていますが、私はまた皆さんに非常に率直に言っています。ヤコブ1章2節から4節です。皆さんもよく知っていますね。彼はこう言っています。

ヤコブ1

2私の兄弟たち。様々な試練にあるときはいつでも、この上もない喜びと思いなさい。

えええ？ ...原語では、何と言っているのでしょうか？それは、こう書いてあるに違いありません... 「兄弟たち。...この上もない『地獄』だと思いなさい...」 そう書かれていません。「この上もない『喜び』と思いなさい」とあります。「本当に？」 「なんでそんなことが可能なの？」 ああ、聞いてくれて嬉しいです。3節それが可能であるのは... 「あなたがたが知っているとおりに...」 「事前に」と付け足してもよいですか？ 「信仰が試されると..」 「信仰」です。あなたの信仰が試されています。

「忍耐が生まれます。」 (ヤコブ1:3)

そして、キーワードは4節にあります。私の覚書にはそれに下線を引いてあります。

「その忍耐を完全に働かせなさい。」 (ヤコブ1:4)

なぜヤコブは、聖霊に促されてこう言ったのでしょうか？ 「忍耐を完全に働かせる」？ 私たちには、忍耐を完全に働かせない傾向があるのではないのでしょうか？ 私たちは蹴って、戦って、噛んで、引っ搔いて、不平を言っています。牧師は「不平を言う」という言葉を使いません。「嘆き」という語を使います。それは私たちには、より霊的な響きがします。「私は嘆いていた。」 おお、あなたは嘆いていたんですか... おお！ いいえ、私たちは不平を言い、文句を言っていました。「神よ...！」 忍耐を完全に働かせましょう。

「そうすれば、あなたがたは 何一つ欠けたところのない、成熟した、完全な者となります。」 (ヤコブ1:4)

ああ、...そこから割り出されるのは、もちろん、私が何かを欠いているということです。そのとおりです。成熟度、忍耐力、強さ、忍耐、上記のすべて。ペテロで締めていきたいと思えます。私はペテロが大好きです。思うに、よく分かりませんが、私たちはいつも天国に着いたら何をするかという話をしますね。「私が天国に着いたら、神にいくつか質問をする。」 いいえ、そんなことはありません。そこに着いたら、あなたはただただ畏れるばかりでしょう。天国に着くと3つの反応があるとされています。最初の反応：「わお！ 来たんだー！」 2番目の反応：「あの人たちがここにいるの？」 そのことについて、ちょっと考えてみて下さい。3番目の反応はもう少しハッとするものです：「あの人たちはどこ？」

そうなんです。しかし、議論上、こう言ってみましょう。天国に着いたら、ペテロのような人と話す機会があります。私はパウロと話がしたいです。「ワオ。パウロ、おまえ！」 私は彼を「おまえ」とは呼ばないでしょう。失礼ですから。もちろん、私は栄光の中にいるので、それは重要ではありませんが。しかし、私はこのペテロという人に会うのが待ちきれません。イエスがペテロに言った時のことを覚えていますか？

「ペテロよ、サタンはあなたを麦のようにふるいにかける許可を求めた。」

私はこれを頻繁に取り上げますが、それには良い理由があるからです。だって、私がペテロだとしたら？ 「主よ、あなたは彼にダメだと言いましたよね？」 と言うでしょう。「いいえ、私は彼に許可を与えた。」 — ど、ど、どうして？！ なぜなら...イエスはこう言います。

「わたしはあなたのために、あなたの信仰がなくならないように祈りました。」 (ルカ22:32)

そして、なくなったのは彼の信仰ではなく、彼の勇気でした。それがペテロの最強の特徴だったのは面白くないですか？ 私がこう言う理由は、実際、1コリント10:12は、1コリント10:13の前の節であり、13節には、私たちが耐えることができない試練を許されることはない事について書かれています。パウロはこう言っています。

「ですから、立っていると思う者は、倒れないように気をつけなさい。」 (1コリント13:12)

彼が言っていたことが分かりますか？ 私たちは私たちの最大の強みの領域で失敗に陥りやすいということです。その理由は、私たちが油断しているからです。

「いや、私は私の人生のその領域は、抑えてあるから。」 「私はそれに関しては強い。 私はその分野では強い。」するとサタンは、「おお、本当に？」それでサタンは主の元に行き、「あれを聞きましたか？」と言います。ペテロの勇気 ...冗談ですよ？彼はその船の中、その嵐の中で、主にこう言う勇気を持っていました。

「私に来いと命じて下さい」と。そして彼は水の上を歩きました。それは勇気です！

彼らが園でイエスを逮捕する時はどうですか？ ペテロはローマ軍全体に挑む勇気を持っていて、マルコスの耳を切り落としました。この人は勇気のある男でしたが、彼はどこで陥ったのでしょうか？この若い女性にこう言われたとき、彼には勇気がありませんでした。「確かに、あなたはこの男イエスと一緒にいたね？」そして彼は、「私はあなたに誓う」と言います。彼は呪いを誓ったものではありません。

彼はこう誓ったのです。「私はこの男と一緒にいたことがないと誓う。」そして、その時に、雄鶏が鳴き、イエスの目がペテロの目と合ったのでした。 **(ルカ22:56-61)**

軽蔑や嫌悪感ではなく、思いやりと慰めをもって。「私はあなたに、こうなると告げた。」 「しかし、私はまた、このことも告げた。それが起こった後に、」「あなたはあなたの兄弟姉妹を力づけると。」言い換えれば、ペテロは... ここで言いたい事は... イエスは事前にペテロに警告しました。それが起こったときに何を予期すべきかが分かるように。ペテロが後に書いていることを聞いてください。これで終わります。彼の最初の手紙の4章12-13節で、彼はこう言っています。

1ペテロ4

12愛する者たち。あなたがたを試みるためにあなたがたの間で燃えさかる試練を、何か思いがけないことが起こったかのように、不審に思っははいけません。

13むしろ、キリストの苦難にあずかるほど、いっそう喜びなさい。キリストの栄光が現れるときにも、歓喜にあふれて喜ぶためです。

それは私たちの人生の中でのこれらの試練に関係する、2つの非常に単純ながら、かつ非常に重要な真理です。試練はあなたを強めるためのものであり、あなたに運命づけられていることを知ってください。

そうすれば、試練が訪れる時、「私は予期していたよ。どうぞ来るがいい。」 「私はこれが私の運命であることを知っている。」 「ミスター試練よ。神がそれを許された事を私は知っている。」 「なぜなら、神は私を強めたいのだから。」 「だから、かかってこい！」 「かかって来い！」 祈りましょう。

お父様、本当にありがとうございます。主よ。ペテロのように、私たちもあなたの栄光に与る日を待ち望んでいます。この人生の苦しみは、待ちうけている栄光と比較するほどの価値はありません。

主よ、今日ここにいる人、またはオンラインで見えて非常に辛い試練を経験している人のために祈ります。主よ、あなたが彼らを励まし、彼らの信仰を強めて下さい。

主よ、あなたが彼らにこれを乗り越えさせてくれるということを再確認させ、思い出させてください。

それがあなたの言葉であり、あなたはあなたの言葉を破ることはできません。それがどんなに悪く見えても、どんなに悪いことであっても、あなたは彼らにこれを通り抜けさせてくださいます。

結果として彼らはより強くなり、忍耐力とともにより成熟するでしょう。その試練のゆえに。

イエスの名において。アーメン

メッセージby JD Farag牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe47-525Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記hukuinn7